

地域における取組みについて

令和 6 年 7 月 3 1 日

北海道

松前町

松前さくら漁業協同組合

第2回協議会以降の取組みについて

1 第2回協議会以降の地域における取組み

(1) 漁業影響調査、漁業振興、制限範囲等の検討

- ・松前町、松前さくら漁業協同組合を中心に、函館水産試験場等から知見も提供いただきながら、事務局と検討

(2) 地域の将来像、地域振興策の検討

- ・松前町脱炭素再生可能エネルギー推進協議会を中心に、竹内先生、資源エネルギー庁、国交省港湾局等のご助言もいただき検討



上記の地域における検討内容を基に、地域・事務局で協議をしながら、事務局において、とりまとめ(案)・漁業影響調査の考え方(案)を作成

第2回協議会以降の取組みについて（漁業関係検討）

（1）漁業影響調査、制限範囲、漁業振興等の検討

「地域において検討した内容」

- ・漁協組合員も交え、制限範囲を検討
- ・ヤリイカの漁期、産卵期である **2月～5月の工事は避ける**
（影響のない工事の実施可否、時期は、都度、漁協等と相談）
- ・**建設工事によるマグロへの影響**が心配
特にマグロの漁期である7月～1月は、影響緩和策の実施を願う
- ・**水深40m以浅**は、ヤリイカ漁、ウニなまこ等の磯根資源の生息域、ヤリイカ、ミスダコ等の産卵場所でもあり、**風車は建てない**
- ・**各漁港から一定範囲**は、航路となることから**風車は建てない**



上記の検討内容を基に、地域・事務局で協議をしながら、事務局において、漁業影響調査の考え方(案)と発電設備の設置制限範囲等を作成

（2）地域の将来像、地域振興策の検討

・松前町脱炭素再生可能エネルギー推進協議会を3回開催 「地域において検討した内容（地域の課題と振興策）」

- ① 地域公共交通対策の充実
- ② 地元雇用環境の充実と産業の発展
- ③ 観光の魅力の拡大と発掘及びターゲット集客
- ④ 再エネ電力資源の地産地消等における住民恩恵の充実と
町外企業誘致促進（「RE100まつまえ」構想実現に向けた支援）
- ⑤ 脱炭素教育及び体験型再エネ教育の小中高での実施等
- ⑥ 建設時における資材及び人材等の域内調達の最大化
- ⑦ 災害レジリエンスの強化（津波被害想定）
- ⑧ 地元港湾等の積極的活用
- ⑨ 地域住民への適時正確な情報発信及び住民DXの推進

※地域と選定事業者が一体となって取り組むことが重要



上記の検討内容を基に、地域・事務局で協議をしながら、事務局において、地域の将来像・地域振興策(案)を作成

今後の地域における取組みについて

1 今後の取組み

(1) 漁業者、地域住民等の理解促進

- ア 風車建設後のイメージを視覚的に認識できるデジタルコンテンツの作成 ⇒ 12月末に完成予定
- イ 引き続き町の広報等を通じ、洋上風力を含む脱炭素化の取組や地域の目指すべき将来像の情報を発信

(2) 地域の将来像の実現に向けて

- ・事業者決定後の早期から、地域の将来像の実現に向けた、漁業振興や地域振興が行えるよう、計画の具体化・体制の構築を進めていく。

『風を活かしたリニューアブルタウン』
～誰もが住み続けたいまちをめざして～